

大阪・関西万博での情報発信について ～事務局からの報告～



2025年11月7日



Members of the Osaka bay
Blue carbon ecosystem Alliance 1

大阪・関西万博でのブルーカーボン生態系に関する情報発信



大阪ヘルスケアパビリオン 令和7年9月10日（水）

●リボーンステージ

- ・ブルーカーボン生態系を楽しく学べるショー・講演
- ・大阪湾の藻場を体験しよう（VRデモンストレーション）
- ・MOBAアライアンス会員からの発信
- ・「おおさかブルーカーボン宣言」の決定とMOBAアライアンスのロゴ公表

●展示ブース

- ・大阪湾の藻場を体験しよう（VR体験）
- ・咲洲西護岸藻場創出事業の基質の展示
- ・おおさかブルーカーボン宣言案の投票周知

ブルーオーシャン・ドーム 令和7年9月26日（金）

●大阪府パート

- ・大阪湾等でのブルーカーボン生態系に関する取組紹介・トークセッション

●兵庫県パート

- ・大阪湾で活動する漁業関係者及び民間企業によるトークセッション



提供:ゼリジャパン

大阪・関西万博でのブルーカーボン生態系に関する情報発信(参考)



ブルーオーシャン・ドーム 令和7年9月23日（火）

●概要

大阪湾にて干潟の保全活動等、水辺の環境保全活動に取り組む子どもたちと
大阪府知事とのトークセッション等

●登壇者

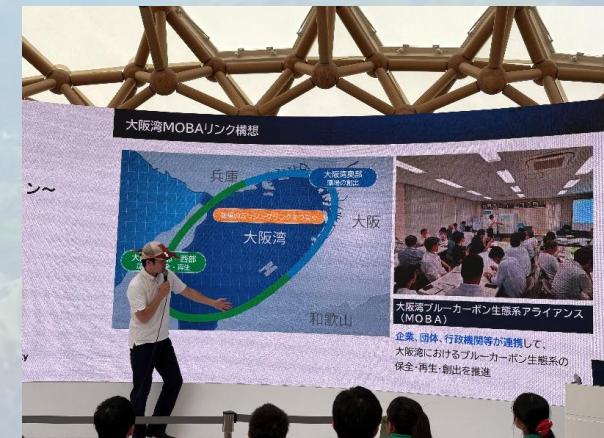
- ・大阪府知事 吉村 洋文
- ・MIZUBEキャラバン隊 ※1 (小学生11名)
- ・貝塚市葛城緑の少年団 ※2 (小学生10名)



提供:ゼリジャパン



知事と子供たちのトークセッションの様子



大阪湾MOBAリンク構想について説明する知事



いのち輝く豊かな海をこれからも

～万博会場から世界に向けた「おおさかブルーカーボン宣言」～

令和7年9月10日 大阪ヘルスケアパビリオンでの発信

イベント概要



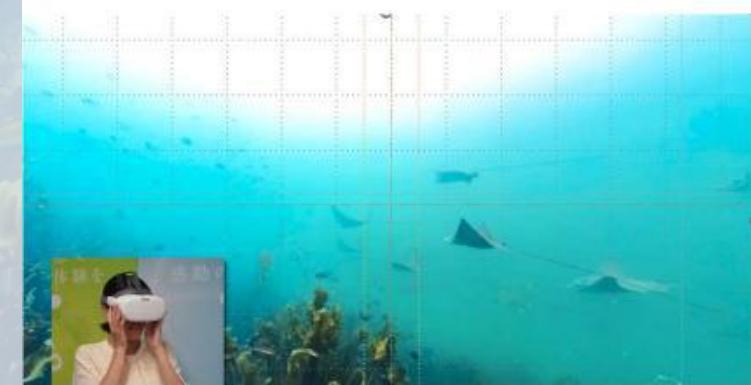
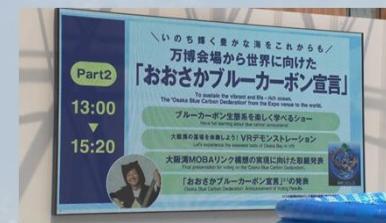
いのち輝く豊かな海をこれからも～万博会場から世界に向けた「おおさかブルーカーボン宣言」～

イベント概要(ステージ)

- 時間: 令和7年9月10日 13:00から15:20まで
- 内容:
 - ・ブルーカーボン生態系を楽しく学べるショー
 - ・大阪湾のVRを体験しよう！VRデモンストレーション
 - ・大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)会員による、大阪湾MOBAリンク構想の実現に向けた取組発表
 - ・大学生等によるプレゼンおよび投票により決定した「おおさかブルーカーボン宣言」の発表
- 出演者(敬称略・順不同)
 - ・NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事 岩井克巳
 - ・海鮮プロレス
 - ・株式会社日立製作所(MOBA会員)
 - ・ENEOS株式会社堺製油所(MOBA会員)
 - ・一般社団法人大阪湾環境再生研究国際人材育成コンソーシアム・コア(MOBA会員)
 - ・特定非営利活動法人大阪海さくら(MOBA会員)
 - ・ウルフルケイスケ

イベント概要(ブース)

- ・大阪湾の藻場を体験しよう！VR体験
- ・万博周辺会場海域における藻場創出技術の展示
- ・「おおさかブルーカーボン宣言」への投票



おおさかブルーカーボン宣言ワークショップ (R7.7.26開催)



大阪湾の環境に关心のある大学生らが集まり、専門家による講義、ディスカッションを通じて、大阪湾MOBAリンク構想の今後の取組指針となる「おおさかブルーカーボン宣言」の案を考案しました。



専門家による講義



ディスカッション



宣言案の発表

おおさかブルーカーボン宣言（案）

宣言案(1) 広げよう！MOBAの輪！

1. ~MOBAってなんなん？~
2. MOBA創らへん~
3. ~MOBA守っていかへん？~
4. ~MOBA伝えてみーひん？~

宣言案(2) あなたと育てる廻る海の力

宣言案(3) 藻場でつなげる！今の私(わたし)と、未来の魚庭(なにわ)

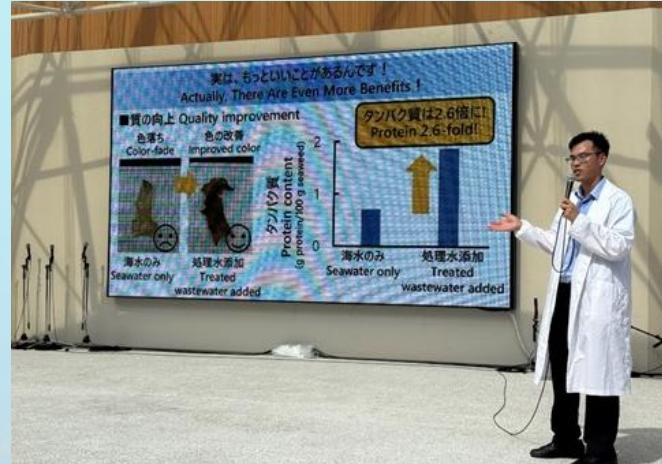
イベント当日の様子（モバリング抗争、大阪湾VRデモンストレーション）



イベント当日の様子（アンバサダーによる宣言案のプレゼン）



イベント当日の様子（アライアンス会員からの情報発信）



イベント当日の様子（エンディング）





**Members of the Osaka bay
Blue carbon ecosystem Alliance**

おおさかブルーカーボン宣言

大阪府では「豊かな大阪湾」を実現するため、大阪・関西万博を契機として、大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系の回廊(コリドー)でつなぐ「大阪湾MOBAリンク構想」を掲げています。

「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向けて、大阪湾におけるブルーカーボン生態系(藻場・干潟)のミッシングリンクとなっている湾奥部における創出や、湾南部や西部における保全・再生を民間企業や地域団体等と連携して取り組んでいます。

「大阪湾MOBAリンク構想」を実現し、次世代へ多面的価値・機能が最大限に発揮された「豊かな大阪湾」を継承していくという思いから、大阪・関西万博の場から世界に向けて、

藻場でつなげる！今の私（わたし）と、未来の魚庭（なにわ）

をおおさかブルーカーボン宣言として宣言し、関係者一丸となって「大阪湾MOBAリンク構想」の実現を目指すとともに、全国的にブルーカーボン生態系に関する取り組みが推進されるよう、ブルーカーボン生態系の認知度向上・機運醸成を目指します。

イベント当日の様子（展示ブースの様子）



- 紙製品のVRゴーグルの配布及びVR映像体験会
- 咲洲西護岸における藻場創出で使用された海藻着生基質の展示
- おおさかブルーカーボン宣言案の投票周知





MOBA！大阪湾のブルーカーボン生態系体験！

令和7年9月26日 ブルーオーシャンドームでの発信

MOBA！大阪湾のブルーカーボン生態系体験！ 大阪府パート



●スライドセッション

藻場から始まる豊かな海の創生
～藻場造成構造物によるブルーカーボンへの貢献～
香川大学創造工学部 未永慶寛 教授

SKSリーフ多孔質藻場礁による
大阪・関西万博向けブルーカーボン生態系の創出
日鉄神鋼建材株式会社 熊谷 明生 氏

「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向けて～大阪府の取り組み～
大阪府環境保全課 吉見

●登壇者によるトークセッション ブルーカーボン生態系の取組みについて

●VR体験会 紙製ゴーグルを配布しVR体験会を実施

トークセッションの様子



VR体験会の様子



MOBA！大阪湾のブルーカーボン生態系体験！ 兵庫県パート



●トークセッション

登壇者

JOHNAN株式会社 上野 敏寛 氏
兵庫漁業協同組合 糸谷 謙一 氏

トークテーマ

「漁業者とテクノロジーで挑む海づくりの未来」

当日の様子

【#133】 MOBA！大阪湾のブルーカーボン生態系体験！
(ZERI JAPAN／大阪府・兵庫県・大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス
・ひょうご豊かな海づくり県民会議) #EXP02025
https://www.youtube.com/watch?v=09TDO_8Q5E

トークセッションの様子



ブルーオーシャンドームでの催事はYOUTUBEで公開

The video page shows a thumbnail of the talk session, the title, and a list of comments from viewers. The comments are in Japanese and discuss the event, the speakers, and the future of coastal management.

Comments (partial list):

- [#133] まさに海を利くSAFI大阪湾の複数型社... [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]
- [#133] MOBA！大阪湾のブルーカーボン生态系体験！ [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]
- [#133] Ocean CleanUp (ZERI JAPAN / The Ocean... [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]
- [#133] ひょうご豊かな海づくり県民会議 [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]
- [#133] さして、さて、吉村市長！日本のおもしろい... [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]
- [#133] 「技術勉強」から考える「海開拓から海づくり... [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]
- [#133] 海のごとの大熱狂を [EXP02025 BLUE OCEAN DOME]



今後のブルーカーボン関連取組について ～事務局からの報告～



2025年11月7日



Members of the Osaka bay
Blue carbon ecosystem Alliance¹⁶

大阪湾におけるブルーカーボン生態系の保全・再生・創出



主な取組事例

◆ ポテンシャル調査を実施した拠点護岸



大阪湾奥部におけるブルーカーボン生態系の取組



2024

2025

2030

2050

大阪湾
奥部

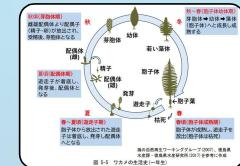
周部・西岸

大阪湾MOBAリンク構想の実現

MOBAアライアンス活動



藻場 創出手引きの公開



咲洲西護岸の創出事例



ブルーカーボン生態系の普及啓発



MOBAアライアンス等による
拠点藻場創出

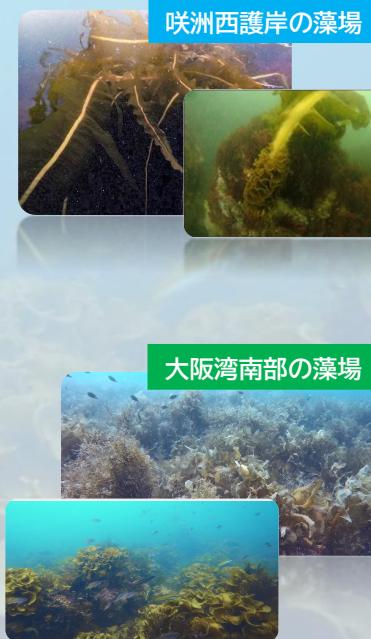
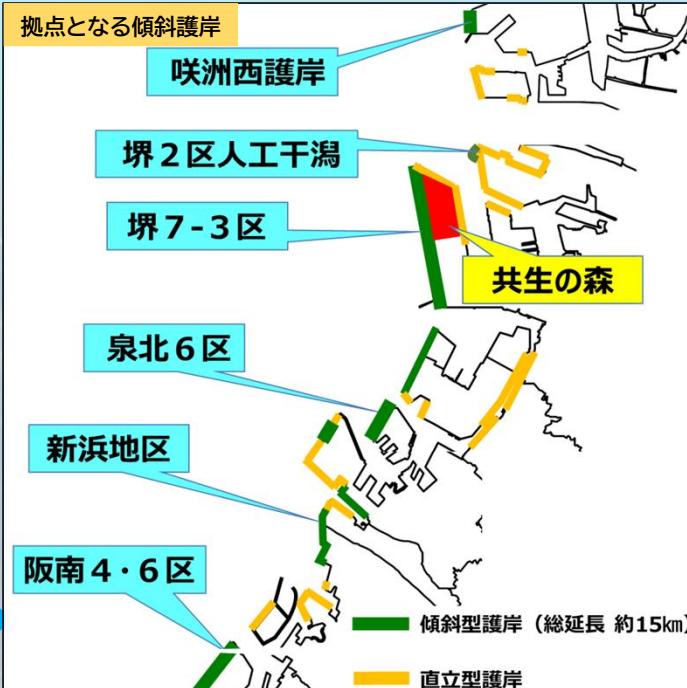
大阪・関西万博 情報発信！



藻場 モニタリング等の手引き
民間の参入促進

大阪湾奥部での藻場創出にご関心のある企業等の皆さま、ぜひお声がけください！！

拠点藻場から周辺護岸へ
海藻のタネが拡散



藻場の保全・再生促進

大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン、関西国際空港、阪南市etc.

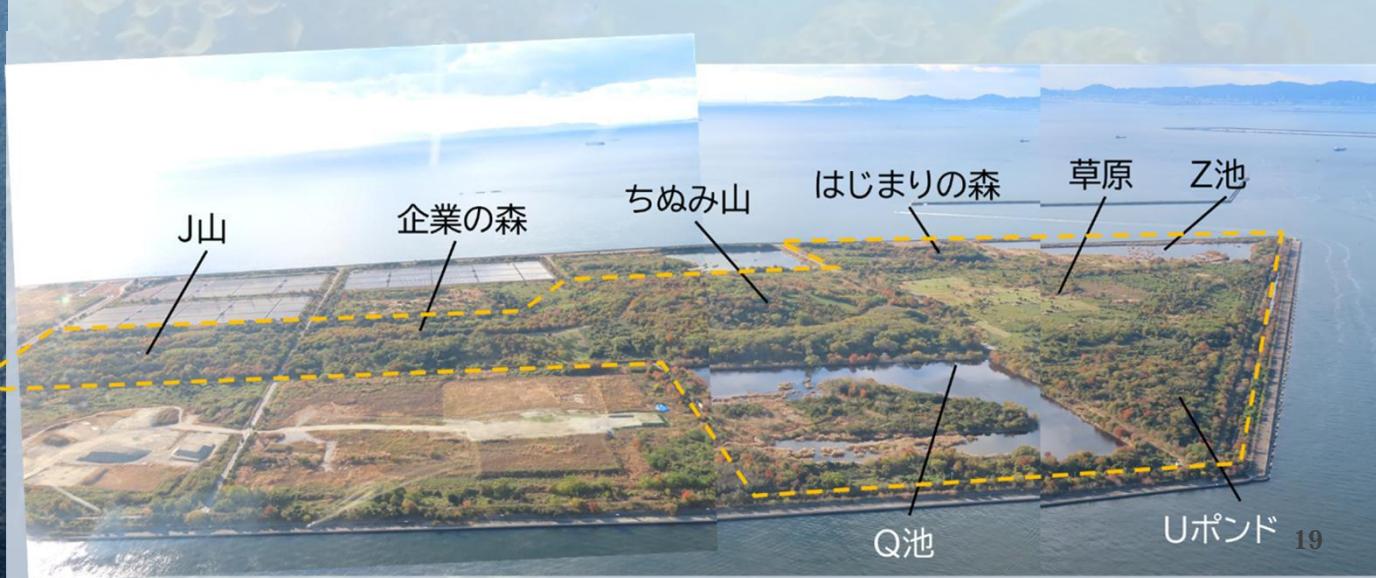
堺第7－3区 共生の森



堺第7-3区産業廃棄物処分場跡地に、府民や企業、NPO等が連携し、平成16年より『共生の森づくり』を実施中



- 堀第7-3区は公共関与の産業廃棄物最終処分場の埋立地で、昭和49年から産業廃棄物の受け入れを開始、平成16年3月にすべての埋立が終了
- 平成13年12月に内閣府より緑の拠点「都市再生プロジェクト」に位置付けられ、府民やNPO等との協働により、森づくりを行っている
- 平成14～15年に、堀第7-3区「共生の森」検討委員会を設置し、森づくりの基本指針を作成
- 府民等によるワークショップを開催し、基本指針の考え方の下で具体的な森づくりの姿や手法について意見交換しながら、森づくりを進め、現在に至っている。
- 森林や草原、湿地など様々な環境が形成されている。



堺第7－3区 共生の森（活動内容）



森MORI SUNディ

【主催：大阪府】

一般府民参加による森づくりイベント



草刈イベント



リース作り

植樹祭・育樹祭

【主催：大阪府】

一般府民参加による植樹(育樹)イベント



第19回植樹祭(2024年3月)

企業の森づくり

【主催：大阪府】

企業の森エリアでの森づくり活動



大阪製鉄（株）による森づくり(2025年5月)



平日活動

【主催：NPO法人共生の森】

4班に分かれ、月3回程度実施



竹林の手入れ

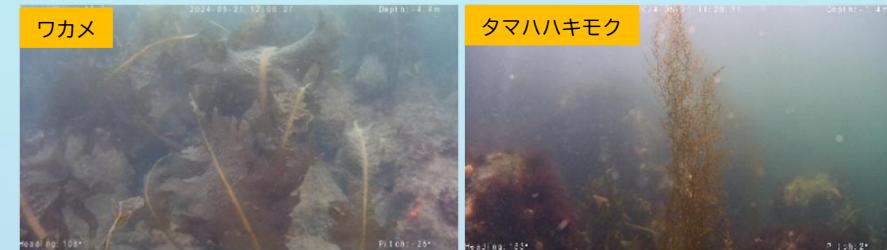


オギ草原づくり

堺第7-3区でのブルーカーボン拠点創出に向けて



消波ブロック等にワカメ、ホンダワラ類(タマハハキモク)などの
大型藻類の藻場創出ポテンシャルを確認



大阪湾MOBAリンク構想の実現に向けて、多くの方との協働で
ブルーカーボン生態系の拠点創出に取り組みたいと考えています。

ご関心のある皆様、ぜひいっしょに取り組みましょう！



ブルーカーボン拠点創出に係る費用確保について



実施主体	制度名	概要	補助対象者	金額 ※過去募集参考
環境省	戦略的「令和の里海づくり」 基盤構築支援事業	①藻場・干潟の保全・再生・創出、②地域資源の利活用による好循環、さらに③多様な主体者との連携を実行する「令和の里海づくり」の実現に向けた3か年事業	地方公共団体、NPO法人、企業、漁業協同組合、学校法人、またはこれらを構成団体とする協議会等	上限600万円
公益財団法人国際工メックセンター	令和7年度みんなの里海づくり 支援事業 <活動支援>	・自然環境や藻場・干潟等の保全・再生・創出に資する活動 (保全・再生等活動) ・自然環境や藻場・干潟等の保全・再生等活動を体験できる観光コンテンツの造成 ・ほか	特定非営利活動法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人又はこれに準ずる非営利法人並びに企業・任意団体等の民間団体	上限50万円
宝ホールディングス 株式会社	タカラ・ハーモニストファンド	(1)日本国内の森林・草原、木竹等の緑を保護、育成するための活動または研究。 (2)日本国内の海・湖沼・河川等の水辺の良好な自然環境を整備するための活動 または研究。 (3)日本国内の緑と水に恵まれた良好な自然環境の保全及び創出に資するため の活動または研究。	(1)具体的に着手の段階にある活動・研究。 (2)営利を目的としない活動・研究。 (3)活動・研究主体の資格は問わないが、次の条件を満たす個人または団体	総額500万 10件程度
公益財団法人JPA	TOYO TIREグループ 環境保護基金	(1)里山・森林・緑化整備運動 (2)生態系保護活動 (3)水・河川環境保全活動 (4)その他	公益に資する事業を計画している団体	150万円
公益財団法人 自然保護助成基金	プロ・ナトゥーラ・ファンド 助成	国内研究助成 日本国内における自然保護の基礎となる調査・研究 1:国内活動助成(一般枠) 日本国内における自然保護のための保全・普及・啓発活動 2:国内活動助成(地域型市民活動枠) 日本国内の地域に根差した団体による自然保護のための保全・普及・啓発活動	自然保護に関する調査・研究および活動を進める能力のある団体	50万円 100万円
大阪湾広域臨海環境整備センター	フェニックス事業に係る 調査研究助成事業	以下に掲げる課題のほか、フェニックス事業の運営に関し有益な知見が得られる ことが期待され、フェニックス事業の進展に寄与するもの ・廃棄物の減量化の進行とフェニックス事業の展望 ・災害時におけるフェニックス事業の安定的運営 ・フェニックス事業における環境保全対策 ・カーボンニュートラルに資する内容	環境保全を目的として設立・認証された非営利団体又は研究機関	上限300万円
パタゴニア・インターナショナルリンク 日本支社	パタゴニア環境助成金 プログラム	環境問題の解決に貢献するプロジェクト(ただし、普段の組織運営に関わる人件費や経費、建物、土地、車両、ボート等の購入、修理、改造、改築は対象外)	非営利組織 (諸条件を満たす任意団体)	75-300万円
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団	環境市民活動助成	非営利活動団体、任意団体の活動支援(事務所家賃・旅費等)的な位置付け	非営利活動団体、任意団体(NPO法人・一般社団法人・自治会・町内会など)	—

令和7年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業



- ①藻場・干潟の保全・再生・創出と②地域資源の利活用による好循環、さらに③多様な主体者との連携※を実行する「令和の里海づくり」の実現に向け、令和7年度～9年度の3カ年事業として、**8団体を選定。**※「今後の里海づくりのあり方に関する提言」で示した理念と指針の3項目。
- 地域が実施する**計画策定と事業実施を資金的・技術的に伴走支援**し、共に成果を創出。
- ネイチャーポジティブ、ブルーカーボン、森里川海の連環の再生といった**複数分野への統合的なアプローチ**を目指し、水産業や海洋教育、沿岸域の総合的管理（ICM）へも貢献。

【対象事業】※令和7年は最大600万円／1団体で最大3年間の事業期間。モデル事業に加え、アドバイザー派遣、マッチングの場の提供、研修等の育成プログラムなど複数の支援プログラムを実施

- ・ 自然環境や藻場・干潟等の保全・再生・創出に資する活動
- ・ 希少種に限らず沿岸の**生態系の保護やモニタリング、データベース化**
- ・ 自然や藻場干潟等の保全・再生等活動を体験できる**観光コンテンツの創出**
- ・ 人材育成に向けた**海洋教育の単元開発、地域の学校等への教材提供**
- ・ シンポジウムやワークショップの開催等、啓発、プロモーション
- ・ 関係省庁の施策との連携
- ・ 被災地としての復興
- ・ 上記を実施するための協議会等の設置や他団体等との連携、枠組みづくり



沿岸域の**良好な環境の創出**に取り組み、

地域課題の解決・ウェルビーイングの実現へ！

環境省HP (https://www.env.go.jp/press/press_04799.html) より引用

令和7年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業 選定団体



団体名（活動場所）		事業名	実施内容（概要）	創出したい成果
1	NPO法人環境生態工学研究所 (E-TEC) (宮城県宮城郡松島町)	松島里海バスケット	コンソーシアム設立、枠組み作り、環境保全・教育普及の拠点づくり	「里海」×「連携」×「学びの拠点化」 NPOがコーディネーターの役割を果たし、将来的な教育普及等の拠点化も視野に、地域一体的な里海づくりを実現。
2	一般社団法人 東松島みらいとし機構(HOPE) (宮城県東松島市)	東松島BLUE LANDプロジェクト	海底の底質改善による藻場再生、多様な主体者との連携、海洋教育	「里海」×「地域循環共生圏」×「水産業」 東日本大震災により変化した海洋生態系において、地域循環共生圏の理念を踏まえ里海づくりに取り組む。
3	和倉温泉創造的復興まちづくり 推進協議会 (石川県七尾市)	和倉温泉からめぐる 七尾湾里海再生プロジェクト	震災復興、観光活用、地域づくり、藻場のモニタリングと保全	「里海」×「災害復興」×「観光」 災害からの復興において、観光を成り立たせている地域資源の里山・里海の保全と観光の融合により、持続可能性の確立を目指す。
4	国立大学法人三重大学 (三重県鳥羽市)	日本の里海 ～三重県鳥羽市における地域資源としての自然環境・共生文化・生物多様性利活用モデル実証事業～	研究・教育拠点（アライアンス協定に基づく）及び漁観連携、漁業や海女文化の継承と観光、藻場保全やモニタリング	「里海」×「海女文化」×「モニタリング」 地域の実施主体を地方大学がサポートし、地域文化や自然環境、漁業と観光の連携促進、自治体の施策(コミット)し、豊かな海の持続的利用のあり方を模索。
5	貝塚里海づくり未来協議会 (大阪府貝塚市)	二色の浜海岸地域における持続的な生態系の保全と里海ネットワーク構築事業	アマモ場・干潟のモニタリング、観察会等の海洋教育推進、地域のネットワークづくり	「里海」×「博学者連携」×「地域・民間参画」 大阪湾北限のアマモ場の保全・利活用に向けて、社会教育施設が地域連携による里海づくりのハブとなり取組の活性化を目指す。
6	尾道東部漁業協同組合 (広島県尾道市)	松永湾の再生・利活用に向けた新たな里海創生プロジェクト	干潟環境の改善、アサリ再生、藻場再生、エコツアー、モニタリング、地域づくり	「里海」×「漁業振興」×「科学的根拠」 持続可能な活動に向けて科学的知見を積み上げ、漁協・自治体・地銀・企業の協働・地域連携の取組を設計。
7	一般社団法人ふくおかFUN (福岡県福岡市)	博多湾から始める 沿岸と流域が繋ぐ人の営みと自然調和	市民科学、モニタリング、海洋教育、自治体や企業・管理者を巻き込んだネイチャーポジティブに向けた地域づくり	「里海」×「市民科学」×「伝承」 日々の潜水調査で得る発見を核に、漁業者、港湾管理者、科学者、市民とともに自然と人の営みの調和した海を育む市民科学を醸成し後世に伝承する。
8	肥後銀行 公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金 (熊本県葦北郡芦北町、天草市)	八代海等沿岸域における産官学民金連携によるアマモ場再生及び利活用による里海づくり事業～未来に続く里海を目指して～	高校生との連携による森里川海連環の取組による地下水とアマモ場等の保全・再生、伝統漁法（うたせ船）観光のエコツーリズムによる存続	「里海」×「産官学民金」×「産業振興」 陸域での地下水保全活動の経験を活かし、地銀及び公益財団が地域の調整役の主体者になり産官学民金が連携し、森里川海の連環する里海づくりを実現。

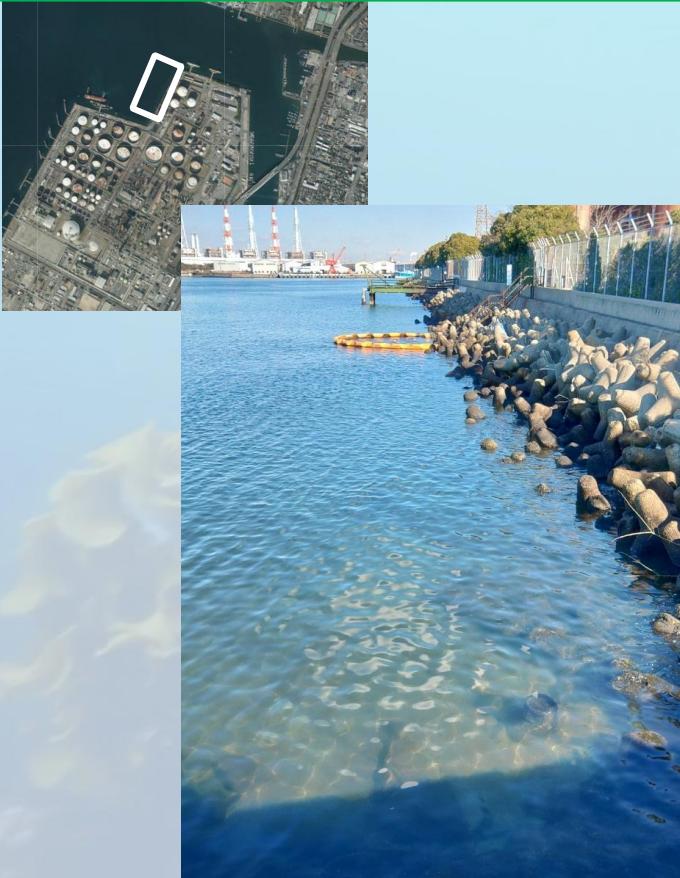
※ 事業実施に際して、事業名や事業内容は一部変更される可能性があります。

環境省HP (https://www.env.go.jp/press/press_04799.html) より引用

大阪府が関与した「令和の里海づくり」モデル事業実施場所



(1)R4年度 堺泉北港泉北1区(藻場創出)
ENEOS(株)堺製油所 様



(2)R5年度 大阪港天保山(生物生息場創出)
海遊館 様



(3)R5～6年度 堺泉北港南泊地(干潟再生)



堺第7-3区における「令和の里海づくり」に向けた検討事項



1. 里海づくりの担い手(メンバー)をどうするか?
2. 里海づくりでやること(藻場造成以外で)をどうするか?
3. 里海づくりで目標とする成果をどう設定するか?